



出中だより

第2号

発行 令和8年7月16日(木)

砺波市立出町中学校

「分かった」「できた」が実感できる授業づくり

教頭 藤田 栄子

今年度の本校の重点目標は「**自分を表現し、互いを尊重できる生徒の育成～自分を発心、みんなを受心～**」です。その実現のため、「**分かった」「できた」が実感できる授業づくり**に日々取り組んでいます。

授業の中で感じる「分かった」「できた」という喜びは、生徒の自信につながり、その積み重ねが、自ら学び続ける力を育てていくものと考えています。授業づくりにあたっては、具体的には次の3つのことを大切にしています。

1.「考えてみたい」と思える学習課題の共有

生徒が興味や疑問をもち、見通しをもって自分なりに考えながら学びを進められるよう、教材や課題を工夫しています。

2.一人一人の学びを深める場の工夫

学習内容や理解の状況に応じて、多様な学習ツールを活用したり、友達と意見を交流したりしながら、自分に合った方法で学べるよう環境を整えます。

3.まとめと振り返りの時間の確保

「分かった」ことや「できた」ことをまとめ、自分の中に落とし込み、振り返りで生まれた新たな気づきを、次への学習課題につなげます。

ここで、学校ホームページに掲載された1年生国語科の授業の様子を紹介します。

学習課題「**みんなが知らない私の一面を聞き手に伝えたり聴きとったりしよう**」の下、各自がスピーチ原稿の制作に集中して取り組みました。

発表の場面では、「みなさん、〇〇を知っていますか、私はこの〇〇が大好きで、家でもよく遊んでいます。なぜ好きかというと・・・」など、「私の一面」を伝えようと、表情やジェスチャーも交えながら、自信をもって発表していました。

発表を聴く生徒は、発表者の意外な一面を発見して、驚いたり感心したりしていました。

私は、このホームページの写真撮影を担当していましたが、カメラに映るのは、「伝えることができた」満足気な表情や、「相手のことが分かった」うれしさいっぱいの笑顔など、「分かった」「できた」を実感できた生徒の姿でした。

これからも、「分かった」「できた」が実感できる授業づくりに、教職員一同力を合わせて取り組んでまいります。

2学期の予定

< 9月 > 1日(火) 始業式

12日(土) 地区新人大会(陸上競技)、13日(日) 北陸マーチングコンテスト

29日(火) 運動会、30日(水) 運動会予備日

<10月> 3日(土) 県中学駅伝、中部日本吹奏楽コンクール、4日(日) 県中文祭

10日(土) 地区新人大会、県 jr. 陸上大会、11日(日) 地区新人大会

15日(木)、16日(金) 中間考査

28日(水) 和鐘文化祭(合唱コンクール)、29日(木) 和鐘文化祭(ステージ発表等)

<11月> 4日(水)、5日(木) 中教研学力調査

7日(土) 地区新人大会(柔道、剣道)

17日(火)、18日(水)、19日(木) 期末考査

<12月> 12日(土)、13日(日) 地区中学生美術展

22日(火)、23日(水) 保護者会

24日(木) 終業式

学校ホームページ更新中



自分達の力で問題を解決していく

第1学年主任 高田 恭平

5月の宿泊学習では、「同心協力～笑顔でつながる最高の学年～」のテーマの下、オリエンテーリングや各学級のよいところ紹介、野外炊飯等に取り組みました。新しく出会った仲間とともに協力して活動に臨む姿が随所にあり、互いの絆を深めるよい機会となりました。

このテーマは「同心協力～自分で考え判断し、個性を認め合う学年～」という形となって、学年目標にも引き継がれました。状況に応じて適切な行動を判断し、自分達のよさを生かしてよりよい集団をつくりあげたいという思いが込められています。現在、休み時間の使い方を学年の課題として取り上げ、学年議会がポスターを作成して、自分達の行動を見直す取り組みが行われています。

自分達の問題を自分達で解決しようとする生徒の思いを形にできるよう、今後もサポートしていきます。



協力して作ったカレーの味は最高でした！！

生きる力を育む5日間

第2学年主任 中田 章子

今年度の「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」が終了しました。事前学習では高岡商業高校生からマナーを学び、初開催の職業セミナーでは13名の講師の方々から様々な職種のお話を伺いました。生徒たちは「働くとは、自分のためだけでなく人のために動くこと」という大切な意義を学び、本番へ臨



働くことの意義について学び、考えました

みました。活動中、慣れない環境で戸惑う生徒もいましたが、事業所の皆様は「未来のある生徒のために」とこまめに状況を共有し、臨機応変に温かく寄り添ってくださいました。地域の宝として社会全体で育もうとしてくださった皆様の深い愛情に、心より感謝申し上げます。また、家庭で温かく支えてくださった保護者の皆様、ありがとうございました。

学校に戻った生徒の顔は、自信と頼もしさに満ちています。今後は感謝を形にする事後学習を行い、この経験を生活で体現できるよう応援していきます。

成長を実感する活躍の数々

第3学年主任 中島 一

最上級生となり、これまでとは一味違った成長を感じられる場面が数多く見られています。

5月に実施した修学旅行では、実行委員の生徒を中心に現地での体験をよりよいものにしようと、主体的な事前学習で臨みました。京都班別学習では、天候の急変にも臨機応変に対応し、プラン通りに活動できた班がほとんどでした。平和への思いを深めて臨んだ広島平和学習では、セレモニーでの心を揺さぶる合唱に、近くにいた観光客が関心を寄せていたほどでした。

また、学校の中心となって活躍する姿は、後輩から頼られる存在となっています。1年生に給食の準備の仕方を教えたり、生徒会活動で工夫を凝らした企画を発信したり、応援団が全校生徒の魂あふれる応援を引き出したりと、印象的な活躍が続いています。

現在は、9月の運動会に向けて応援合戦の構成や練習計画等の準備をしています。3学年201名がもつエネルギーと底知れぬ可能性をさらに引き出せるよう、今後も後押ししていきます。



広島での「平和の誓い」にて、思いをつなげます